



「ADK×ノバセル」が目指す新たなPDCAスキーム

2021年3月24日

株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ×ラクスル株式会社







ADK MS 統合メディアプランニングユニット ユニット長 吉川 友英

1992年

新卒入社〜 銀行系広告代理店にて営業を4年務める 外資系ダイレクト生命保険会社・結婚相談所等、メディア・ブランド担当 1996年〜

旭通信社に中途入社。営業担当にて自動車メーカー・電力会社・外資系 ダイレクト保険・国内大手保険会社・スポーツメーカー・化粧品・アパレル メーカー等、多種多様なクライアントのCMB・ブランド作業を担当 2013年~

現部署統合メディアプランニングユニットに異動 20年以上のメディア 経験から、オンオフ統合したメディアプランニングに従事





ADK MS 統合メディアプランニングユニット 第1プランニングユニット 中村 航一郎

新卒で2008年ADK入社。 営業職で大手保険会社を担当後、 2014年からメディアプランニングセクションに従事

マス、デジタル含めたすべてのメディアの統合型プランニング、バイイング、運用業務に従事。

メディア領域を一括で担当する広告主は年間数十社。

趣味はサウナとゴルフ(吉川のもと特訓中)





ラクスル株式会社 ノバセル事業本部 経営企画部長 手塚 裕亮

日野自動車、パイオニアにて製造、調達/購買、工場立ち上げ、 ERP設計、海外現法(工場)経営と多岐に渡り経験を積む。 その後、製造業専門のコンサルタントファームを経て、 2016年9月よりラクスルに参画。 SCM部長、執行役員印刷事業部長(現ラクスル事業本部)を歴任。

2019年5月より、 ノバセル事業本部へ異動。 経営企画部長として、 事業計画・アライアンス・機関投資家対応等を行うと共に クライアント/出資先への経営支援に携わっている。



2020年12月に協業を開始したADKと、ラクスル社の広告事業「ノバセル」。 広告会社のADKと、自らも広告主として事業を急成長させたノバセルでは 「広告投資対効果を可視化し最大化する」PDCAのアプローチは大きく異なる。

カルチャーの違う両社がタッグを組むことで、

互いの強みを活かした新たなソリューションが生まれ、

協業以降短期間で多くのクライアントから採用されている。

ADKとノバセルが座談会形式でそれぞれの考えるPDCA、協業による進化について語る。



従来はPDCAのPDに特に労力をかけていた。(クライアント、ADKともに)

如何に事前のリスクを低減し効果を予測しDoに繋げるか。

ただ、極論どうしても「やってみないと判らない」事はある。

「やってみないと判らない」領域を極限まで減らす努力(P)は大前提重要だが、

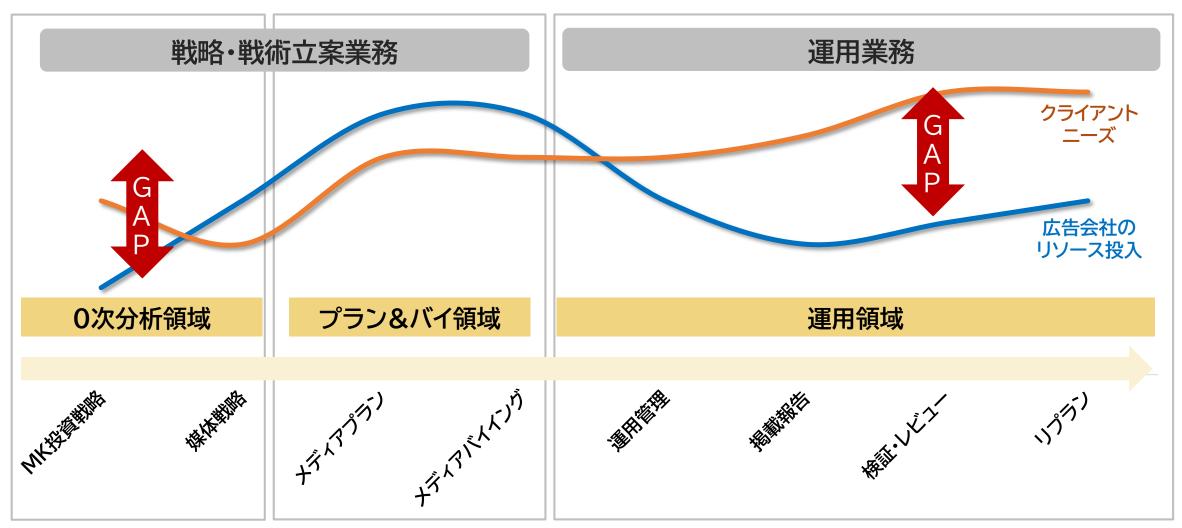
それに過度なリソースを投入すると機を逃したり、再現性を失ってしまうことも。

C⇒A(運用)をいかに正確に速く行えるか、という重要性が日々高まっている。

(クライアントのニーズもそこにシフトしている)

PDCAについて/ADKの実感

クライアントニーズを満たし戦略立案・運用・レビュー・リプランまで 一貫したソリューションを提供することが必要。



業務提携の当初思惑





∧DK<の思惑





<u>運用型テレビCM</u>を 更に進化させるソリューションが欲しい 強固なバイイングカ&総合的な メディアプランニングカが欲しい

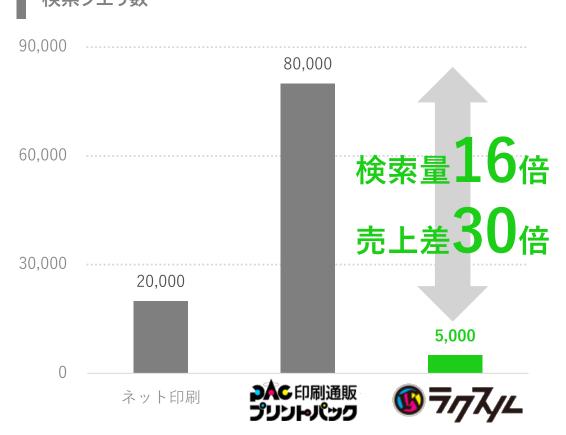
そもそも **名 ノバセル** とは BY ® ラクスル



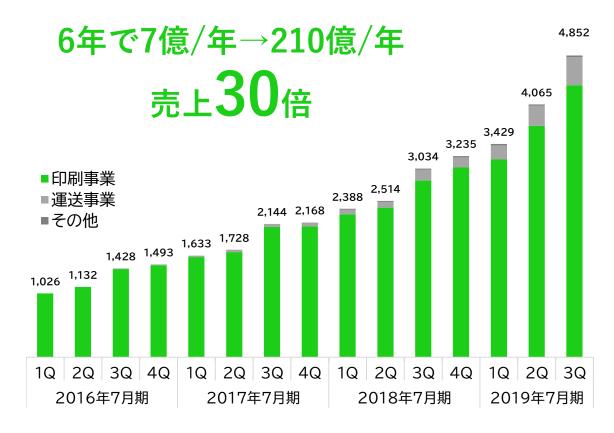
ノバセルはラクスルが5年で30倍の売上を向上させた ノウハウを詰め込んだ売上に直結するTVCMサービス。

『ラクスル』の成長

検索クエリ数



売上成長



TVCMによりコストを増やしながらもCPAを約半分に改善





1. ローカルから始めて「再現性」を高める





2. テレビCMにおけるクリエイティブのABテスト



富山



石川





2. テレビCMにおけるクリエイティブのABテスト





CPA 3倍以上 の差





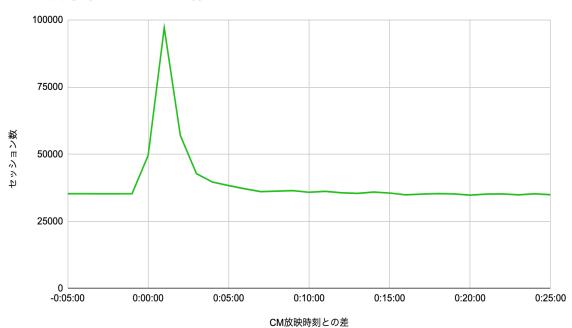
【価格訴求】チラシ印刷1.1円が

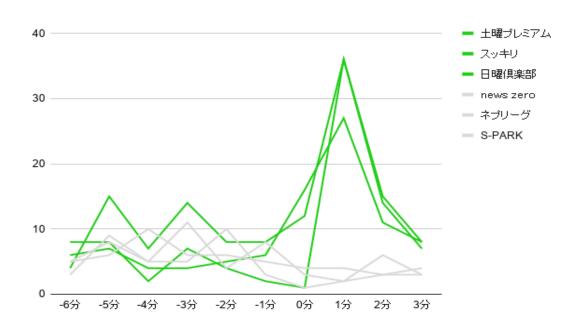


ラクスルにおける発見

CM放映直後に、サービスサイトへのセッション量は跳ね上がる その上がり方は、番組×クリエイティブでかなり違う

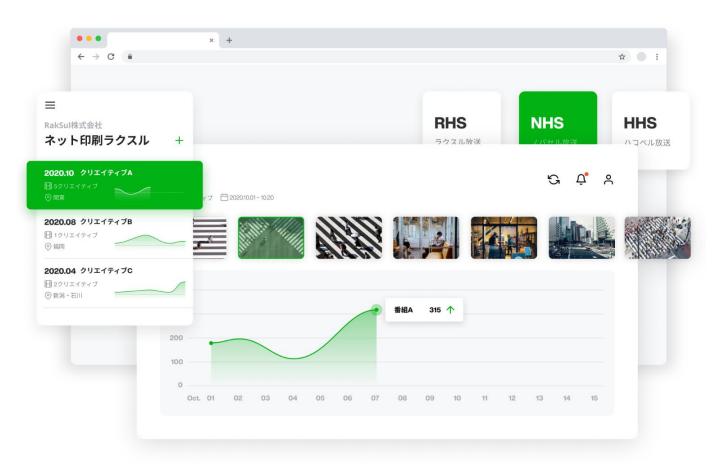
CM放映時刻とセッション増加





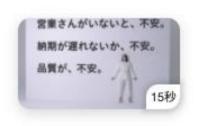
計測を自動化した 図 ノバセル アナリティクス

たった3分の設定で、誰でもすぐにテレビCMの効果が分かるようになります。 クリエイティブや番組毎の良し悪しが分かり、次の改善策が具体的なので、テレビCMのPDCAを実現できます。



四ノバゼルアナリティクス で、できるようになること

ほぼリアルタイムに、番組別に分析できる(特許取得済)から、『良いクリエイティブが定量的にわかる』



印刷 ビジネス印刷変えない 理由 何となく不安篇

② 関東

3分間の増加セッション/100万回視聴

24.51

3分間の増加セッション (合計) 426



印刷 少ロット訴求篇

② 関東

3分間の増加セッション/100万回視聴

8.96

3分間の増加セッション (合計) 337



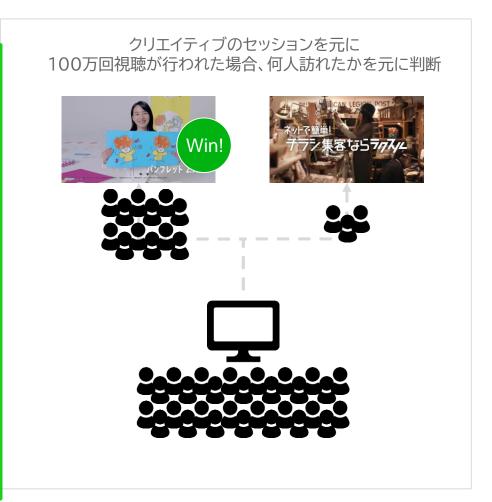
集客体験 30秒 CPなし

関東

3分間の増加セッション/100万回視聴

12.22

3分間の増加セッション (合計) 353



図ノバセルアナリティクス で、できるようになること

ほぼリアルタイムに、番組別に分析できる(特許取得済)から、『クリエイティブの摩耗が定量的にわかる』

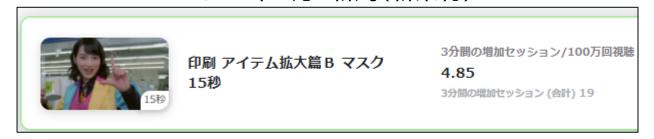
2020年9月 新潟



2020年10月 新潟(摩耗を観測)



2021年2月 新潟(新素材)





ほぼリアルタイムに、番組別に分析できる(特許取得済)から、『相性のよい局、番組が定量的にわかる』

局評価

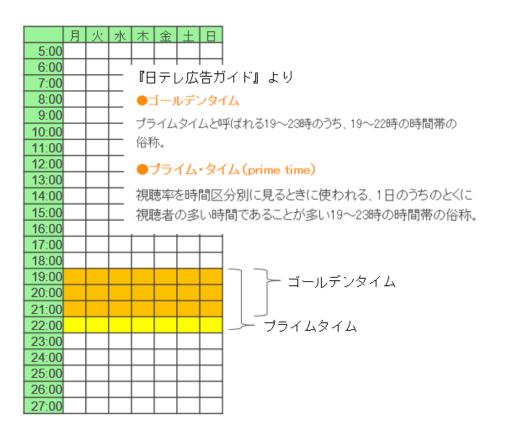
地域		Name [Broadcaster]	系列局	放映回數	GRP(測定成功分)	D	С	B-	В	B+	Α	S	効果グラフ	判定
■関東	=	TBSテレビ	TBS系列	16	68.9	12.5%	6.3%	12.5%	31.3%	18.8%	12.5%	6.3%		-
関東		テレビ朝日	テレビ朝日系列	22	73.7	9.1%	0.0%	27.3%	31.8%	18.2%	4.5%	9.1%	_ ===	0
関東		テレビ東京	テレビ東京系列	2	4.4	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%		-
関東		フジテレビ	フジテレビ系列	5	18.8	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%		-
関東		日テレ	日本テレビ系列	4	32.0	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%		-
関東 の合計				49	197.8	8.2%	6.1%	20.4%	32.7%	16.3%	8.2%	8.2%		-
■近畿		テレビ大阪	テレビ東京系列	14	22.7	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	35.7%	7.1%	14.3%		-
近畿		関西テレビ	フジテレビ系列	15	54.8	6.7%	13.3%	26.7%	40.0%	13.3%	0.0%	0.0%	==	-
近畿		読売テレビ	日本テレビ系列	34	169.8	0.0%	11.8%	8.8%	35.3%	35.3%	5.9%	2.9%		0
近畿 の合計				63	247.3	4.8%	12.7%	14.3%	28.6%	30.2%	4.8%	4.8%		-
中京		CBCテレビ	TBS系列	13	48.5	0.0%	15.4%	15.4%	30.8%	7.7%	15.4%	15.4%		-
中京		名古屋テレビ	テレビ朝日系列	46	150.4	8.7%	6.5%	19.6%	34.8%	17.4%	6.5%	6.5%		-
中京 の合計				59	198.9	6.8%	8.5%	18.6%	33.9%	15.3%	8.5%	8.5%		-
= 福岡県		TVQ九州放送	テレビ東京系列	14	52.5	14.3%	0.0%	21.4%	21.4%	21.4%	7.1%	14.3%		-
福岡県		テレビ西日本	フジテレビ系列	39	274.3	2.6%	10.3%	23.1%	33.3%	15.4%	5.1%	10.3%	==	-
福岡県		福岡放送	日本テレビ系列	39	310.4	0.0%	7.7%	33.3%	43.6%	7.7%	7.7%	0.0%	_==	×
福岡県 の合計				92	637.2	3.3%	7.6%	27.2%	35.9%	13.0%	6.5%	6.5%	==	-
北海道		北海道テレビ	テレビ朝日系列	53	401.7	1.9%	11.3%	30.2%	28.3%	20.8%	5.7%	1.9%		-
北海道		北海道放送	TBS系列	26	143.0	11.5%	3.8%	15.4%	34.6%	15.4%	3.8%	15.4%		-
北海道 の合計				79	544.7	5.1%	8.9%	25.3%	30.4%	19.0%	5.1%	6.3%		-
総計				342	1825.9	5.3%	8.8%	21.9%	32.5%	18.4%	6.4%	6.7%		-

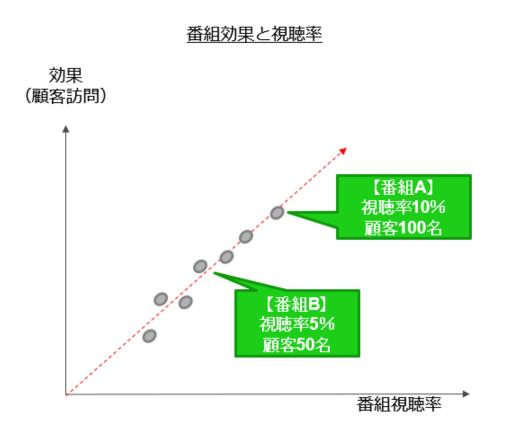
番組評価

番組名 ▽	放映回数 🏲	平均GRP 〒	D =	C ∓	B- ∓	В ∓	B+ ₹	Α ₹	S ₹	効果グラフ	料定 平	備者 〒
モーニングショー	10	7.1	10.0%	0.0%	30.0%	40.0%	10.0%	0.0%	10.0%	_ ==	0	
アップ!	9	3.9	0.0%	11.1%	33.3%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	_==-	0	
ワイド!スクランプル第1部	8	3.3	12.5%	0.0%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	25.0%		0	
NEWS 2 3	6	3.0	33.3%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%		Х	放映量多いが結果が平均より低いので買わない
報道ステーション	5	7.1	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%		0	
ももち浜ストア特報ライブ	5	7.7	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	B	Х	放映量多いが結果が平均より低いので買わない
Live Newsit!	5	4.6	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%		×	放映量多いが結果が平均より低いので買わない
探偵!ナイトスクープ	4	2.6	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	•	Х	放映量多いが結果が平均より低いので買わない
めざましテレビ	4	7.4	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	I	0	
news zero	4	8.0	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	.I	0	
L i v e N e w s a	4	4.1	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-1-	X	放映量多いが結果が平均より低いので買わない
直撃LIVEグッディ!	3	6.1	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	ı.	0	
情報ライブミヤネ屋	3	4.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%		0	
今日ドキッ! (第2部)	3	7.8	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	-1	0	
ロンドンハーツ	3	6.3	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%		0	
ひるおび!	3	4.7	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%		X	放映量多いが結果が平均より低いので買わない
ドデスカ!第1部	3	2.7	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	ı.	0	
スッキリ2	3	7.4	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	ı.	X	放映量多いが結果が平均より低いので買わない
スッキリ1部	3	3.6	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.	X	放映量多いが結果が平均より低いので買わない
ゴゴスマ GOGO!Smile!	3	3.0	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%		0	
かんさい情報ネットten. 1部	3	5.2	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%		0	
かみひとえ	3	4.7	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	ı.	0	
イチモニ!第2部	3	12.5	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0	
イチオシ!! 【新型コロナ最新情報/しあわせ散歩特別編系	3	9.4	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	ı.	0	
ZIP!	3	4.4	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%		0	
Going!Sports&News	3	4.0	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%		Х	放映量多いが結果が平均より低いので買わない

視聴率バイイングの限界

一般論として、高視聴率番組は高効率・高期待値とされてきたが・・

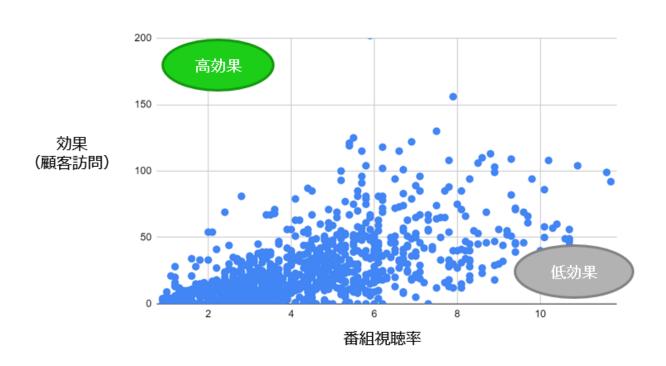


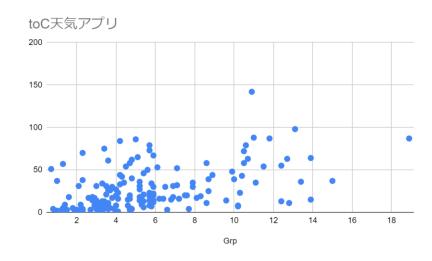


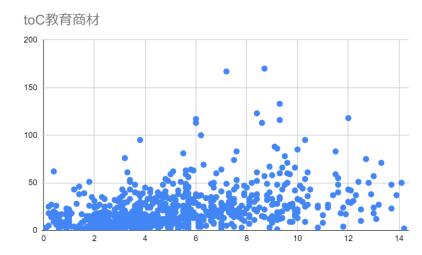
視聴率バイイングの限界

むしろ高視聴率番組はリスキーな傾向

ラクスルでの初期放映実績

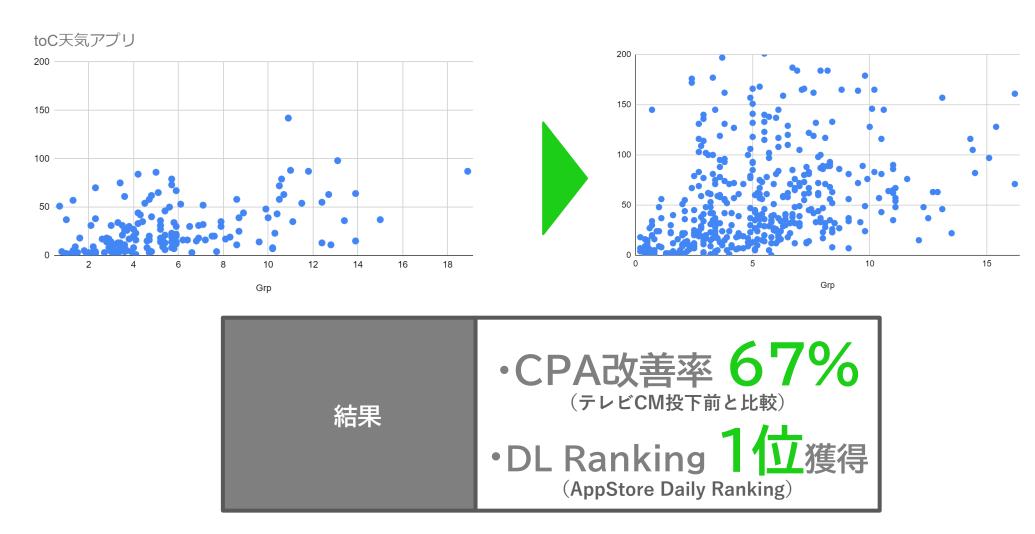






視聴率バイイングの限界

3ヵ月で大きく改善



あらためて、業務提携の当初思惑





∧DK<の思惑





運用型テレビCMを 更に進化させるソリューションが欲しい 強固なバイイングカ&総合的な メディアプランニングカが欲しい

何故メディアに「運用」が必要か

■デジタル広告における運用型広告

検索連動型広告(リスティング広告)に加え、アドテクノロジーを活用した運用によって、 広告枠、入札額、ターゲット(オーディエンス)、クリエイティブ、コンテキストなどを、

変動させながら出稿する方式の広告のこと。

デジタルマーケティングラボより抜粋 https://dmlab.jp/words/e029.html



マスメディア(特にテレビ)においても、同様に運用ニーズが高まっている

ADKの運用型テレビCM取り組みケース

リーチ**重視型** _{運用モデル}

アドバンスト視聴率運用モデル

KGI直結型 ^{運用モデル}

運用ポイント

主にビデオリサーチのデータを 使って TARP の最大化や、 バルクバイイングを通じた 複数素材の配分によって、 効率最適化のニーズにこたえる 運用。

他データとの連携などで独自の 視聴KPIをセットするなど、 ビデオリサーチの視聴率データ だけに頼らないクライアントに カスタマイズされた 視聴率データを利用して運用。 ダイレクト型コミュニケーションやアプリなど、資料請求数、成約数、インストール数など、広告が直接作用しやすい明確な KGI を持ったクライアントに対する運用サービス



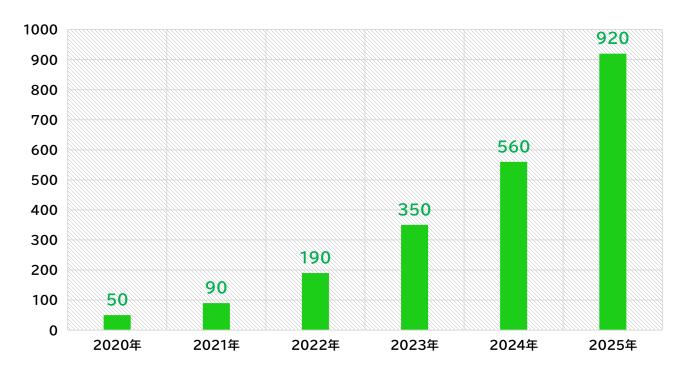
Webコンバージョンを重視する ダイレクト型商材

ターゲットを限定しすぎない 一般向け商材 デモグラ以上のターゲットセグ メントが有効な商材

運用型テレビCM市場の成長予測

2020年時点で運用型テレビCM市場は50億円。 ここから5年で約20倍まで成長すると言われている。

運用型テレビCM市場規模推計 2020年-2025年



Data;テレシー/デジタルインファクト調べ/KGI直結型モデルの数字と推定

運用型テレビCM とは

一定のKPIを参考として、短期的にクリエイティブやメディアプラン、放送枠の変更調整を繰り返しながら広告効果の最適化を図るテレビCM出稿のこと。

協業により、KGI直結型の運用型テレビCMの提案機会が大きく増加。 それに伴いADKの提案スコープも変化してきました。

ADKの提案スコープの変化



①事業KPIについてクライアントと 議論させていただく機会が大幅に増えた。 (メディアKPI/広告KPIだけではなく)

②広告KPIだけではなく事業KPIに対しても パートナーとして伴走していく、 というタイプの提案ケースが増えた。

事業KPI伴走タイプの提案ケース

アプリサービスの提案ケース (オリエン時のコミュニケーション目的:インストール数の増加)

従来型

広告投下量(GRP)に対して インストール予測値を試算。 or 目標インストール数に対して 必要投下量を試算。

本ケース

ノバセルとADKが協業し 事業KPIを整理し、共に追いかける 体制、運用フローの提案



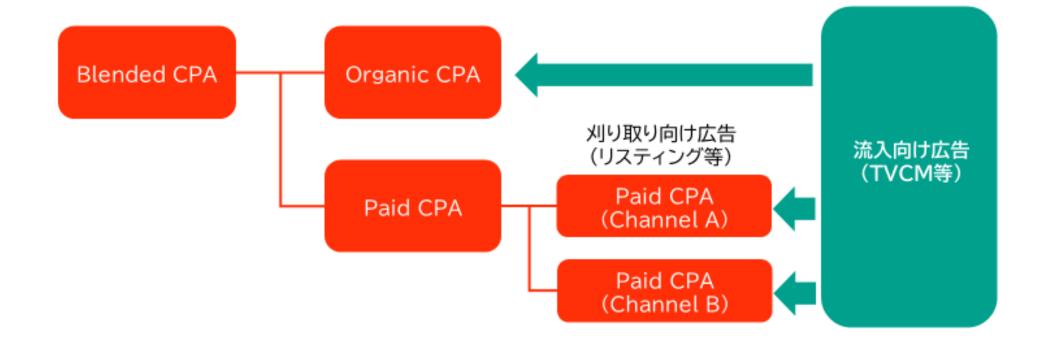
CPA(獲得費用) < **LTV**(獲得利益)

これが合っていれば、事業継続性は担保される



CPAをどう考えるか

- チャネル・施策別の改善幅を考える前に、まず総額で見合っているのかを考える
- チャネル・施策別は相互影響があるため、個別の分解に拘り過ぎない事が肝要(傾向値は抑えるべき)





LTVをどう考えるか

リピートしないなら単月 離脱しないなら、ファイナンス上許容される回収期間



なぜファイナンスの話になるのか?

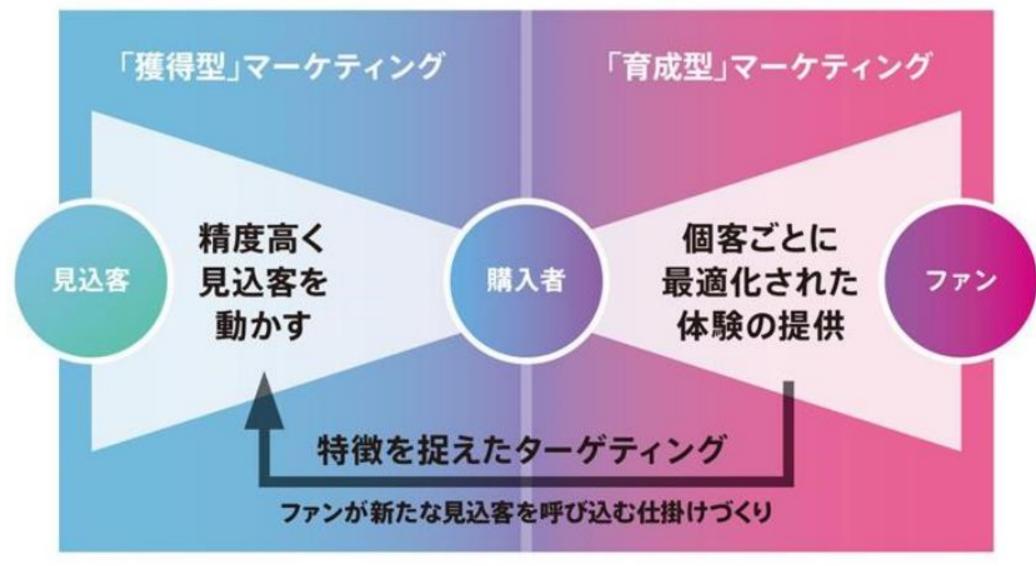


許容される投資額・回収期間の設定

- ・ 注文回数×単価×利益率でモデル化
- 一番大事なのは、注文回数と期間の関係

初回注文利益	年間購入回数	1年LTV	СРА	投資回収
10,000	1	10,000	10,000	当月
1,000	12	12,000	10,000	10ヵ月目
1,500	6	9,000	10,000	13~14ヵ月目







<CPAドライバー>

- ターゲット別
- ・訴求別(クリエイティブ別)
- ・エリア特性
- ・メディアアロケーション/局・番組特性
- ・残存効果/フライトパターン

育成型」マーケティング

<LTVドライバー>

- ・ターゲット特性
- ・エリア特性
- ・商材特性/プロダクトミックス
- •顧客単価
 - ·購入頻度
 - ・チャーンレート
 - ・粗利率/スケールメリット

提案スライド抜粋

まとめ

【レポートからのご提案アクション例】

問題	原因推定ケース	原因例	貴社アクション例
CPA	DL数が上がらない	便益ポイント訴求不足 刈り取り施策不足 素材の摩耗	番組別DL効果の傾向分析 クリエイティブパターン追加検証 費用アロケーション検証
	DL数は上がるが、 AUが上がらない	忘却・初期離脱	Push通知の頻度・内容精査 UI導線チェック
	AUは上がるが、 PUが上がらない	単価・店舗	キャンペーン施策 (新規/既存の打ち分け留意) 店舗別 注文頻度分析
LTV	PUは上がるが、 顧客単価が上がらない	単価·店舗	顧客別購入頻度·単価分析 店舗別注文頻度·単価分析

最初から、全アクションを意識してデータ分析を行うと膨大な分析となるため、 キャンペーンを通して、注力すべきポイントを明確にしていくとともに、 アクション別の改善効果も可視化が可能になります

そして、次回の広告投下タイミングにも活かします。

© 2021 ADK marketing solutions INC. & Raksul.INC ALL RIGHTS RESERVED.

4

効果検証指標の捉え方



広告代理店が果たすべき役割の変革



短期・中長期目線で行動KPIと意識KPIの効果検証を行い、

PDCAサイクルを回していく 流入 数

CPA

ブラ ンド 理解

効果検証指標の捉え方

短期・中長期目線で行動KPIと意識KPIの効果検証を行い、PDCAサイクルを回していく

時間軸/項目	短期	中長期
意識調査		意識KPI:ブランド認知率 等
GA	行動KPI:SS数 / 指名検索数 等	
TVCM	行動KPI:SS数 / CPA 等	行動KPI:SS数 / CPA 等 意識KPI:ブランド認知率 等
デジタル広告	行動KPI:imp / Click / View 等	意識KPI: ブランドリフト
TVCM×デジタル広告 統合分析		行動KPI:統合リーチ数等 意識KPI:ブランドリフト
統計解析		行動KPI:客数/ 売上/SS数/指名検索数

効果検証指標の捉え方

ノバセルに加えて、それぞれの効果検証手法を組み合わせて統合管理

時間軸/項目	短期	中長期
意識調査		既存実施中の意識調査を想定
GA	Google Analytics	
TVCM	フルセル テレビCMのサイトセッション/CVリアルタイム分析	だ線テレビ×意識調査/結線テレビ×サイトセッション/CV数
デジタル広告	Display & Video 360 広告配信レポート	Display & Video 360 広告接触有無別ブランドリフト調査 Campaign Manager 360 Analytics 360 アトリビューション分析
TVCM×デジタル広告 統合分析		AccessMill × OTS マクロミルパネルによるクロスメディア効果測定 統合リーチ分析/接触群別意識調査
統計解析		SPSS® AN IBM® COMPANY 重回帰分析



『デモグラの効率が良い枠でCMを届ける』はもちろんのこと 『リアルターゲットへ効率良くCMを届ける』ことが重要 ADKは一歩先へ踏み込んだTVプランニングを実現

Beyond Age, Beyond Gender

従来のデモグラによるマスメディアプランニングからの脱却

視聴の量

視聴の量の質

視聴者の質



『デモグラの効率が良い枠でCMを届ける』はもちろんのこと 『リアルターゲットへ効率良くCMを届ける』ことが重要 ADKは一歩先へ踏み込んだTVプランニングを実現

Beyond Age, Beyond Gender

従来のデモグラによるマスメディアプランニングからの脱却

通常バイイング時、 使用のデモグラデータ

VR視聴率データ

性·年代別の視聴率 データによるプランニング 視聴量から視聴質へ

TVISION INSIGHTS

専念視聴データによる 質を伴ったプランニング 意識・価値観を考慮した 視聴データを把握

Switch Media LAB SMART

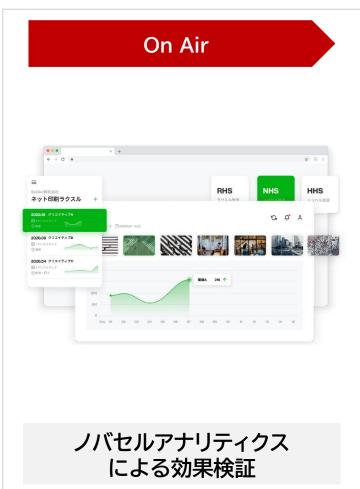
リアルターゲットの TV接触状況を把握



<mark>ノ</mark>バセルを活用したテレビCMバイイングのPDCA









問い合わせ件数 4か月間の実績

幅広い業種から

問合せ件数約120件

受注件数約25件

WEBコンバージョン系が主

クライアントの反応

協業4か月で非常に多くのお問い合わせをいただいています。 改めて広告効果の可視化に対するニーズの高さを実感しております。



事業会社として、事業への直接的な貢献度を定量化しにくいテレビCMは 活用しにくく、且つ社内決済も通しにくかった。

ノバセルを活用してそれが判断できるようになるのはありがたい。

(通販型食品事業宣伝部長)

これまではテレビCMの効果としてブランド認知や利用意向など、

KGIまでの中間指標として意識のKPIを追うに留まっていたし、

それがテレビの役割と割り切っていた。今後はそれに加えてノバセルによって

日々のCVやサイトアクセスへの影響をADKと一緒にデータを見ながら議論しようと思う。

(B2C型Webサービスマーケティング担当者)

放送局の反応

協業リリース後は放送局からは賛否様々な反応がありました。 丁寧な説明を重ね、今はクライアントビジネスへの貢献を共通目的に進めています。



運用型テレビCMはスピーディーな放送枠の組み換え、希望枠の要請や クリエイティブの差し替えなど放送局側のオペレーションにも大きな負荷が起こると懸念。 とはいえADKのクライアントは類似ケースも多いので、その延長と理解している。

(放送局営業担当)

テレビCMの効果の可視化について、課題感があったことは勿論分かっていたが 業界全体としてそこへの説明責任が曖昧になっていた。その姿勢がデジタルシフトを 加速する一因にもなっていると考えているので、こういったソリューションを通じて テレビCMの効果を説明してもらえるのはありがたいし、それがテレビCMの予算増資や、 新規クライアントへのすそ野拡大に繋がると思っている。

(放送局営業担当)

問い合わせ件数 4か月間の実績

幅広い業種から

問合世件数約120件

受注件数約25件

WEBコンバージョン系が主

運用型テレビCM市場の成長予測

<

運用型テレビCM市場規模推計 2020年-2025年



Data:テレシー/デジタルインファクト調べ/KGI直結型モデルの数字と推計

2020年時点で 運用型テレビCM市場は50億円。



ADK×ノバセルの 現時点シェア95%と推定 着実に実績を重ね サービス精度を磨いていきます。



ご清聴ありがとうございました。